

# とやま環境チャレンジ 10 の実施結果について

平成 17 年 5 月 2 日  
環 境 政 策 課  
(財)とやま環境財団

富山県と(財)とやま環境財団では、平成 16 年度から地球温暖化防止に向けた県民意識啓発事業の一環として、「とやま環境チャレンジ 10」を市、小学校及び地球温暖化防止活動推進員と連携して実施しています。

この度、平成 16 年度の実施結果の概要がまとまりましたので、ご案内いたします。

## 1 事業概要

### (1) 目的

県内の10歳の児童(小学校4年生)が、家族とともに設定した家庭における10の温暖化防止プログラムを10週間実践し、一定期間ごとに自己評価するという一連の取り組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルを意識し、温暖化に対する家庭での児童及び家族の取り組みの推進を図る。

### (2) 参加者

県内 9 市 10 校の小学校 4 年生 258 人及びその家族

草島小学校、水橋西部小学校(富山市)  
平米小学校(高岡市)、堀岡小学校(新湊市)  
村木小学校(魚津市)、仏生寺小学校(氷見市)  
東加積小学校(滑川市)、石田小学校(黒部市)  
庄東小学校(砺波市)、東部小学校(小矢部市)

### (3) 実施期間 平成 16 年 9 月 ~ 17 年 3 月

(家庭における取り組み期間 平成 16 年 9 月 ~ 12 月の 10 週間)

### (4) 実施方法

#### 事前講習

地球温暖化防止活動推進員<sup>1</sup>が小学校で事前講習を実施し、児童が家族とともに家庭でできる 10 の温暖化防止プログラムを設定した。

#### 家庭での実践

児童が家族とともに 10 のプログラムを 10 週間実践するとともに、毎週その取り組みの度合いについて自己評価を行った。

#### 取り組みの評価

10 週間後、児童が中心となって家庭での取り組み結果を取りまとめた。その後、地球温暖化防止活動推進員や担当教諭が取り組み結果等について、児童に対し講評を行った。

#### 1...地球温暖化防止活動推進員

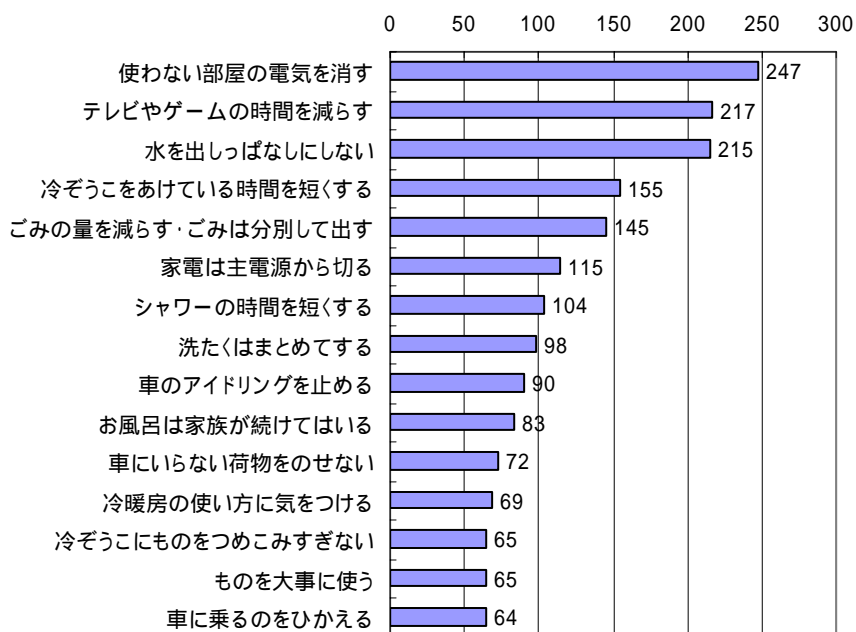
富山県は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 23 条の規定により、16 年度に初めて地球温暖化防止活動推進員に 57 名を委嘱した。推進員は、地域において地球温暖化防止に関する住民への普及啓発、温室効果ガス排出削減のための調査、指導及び助言等を行う。

## 2 取組み結果の概要

とやま環境チャレンジ 10 に取り組んだ児童数は、全 10 校、**258 人**であり、取組み結果の概要は以下のとおりである。

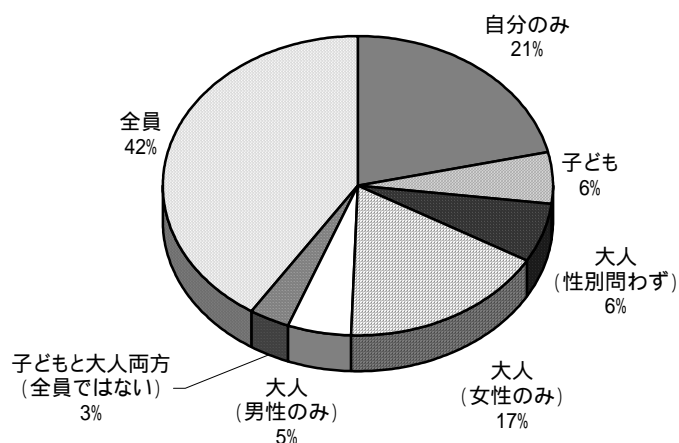
### (1) 児童が設定した温暖化防止プログラム(上位 15 項目)について

プログラムの設定において、「使わない部屋の電気を消す」、「テレビやゲームの時間を減らす」、「水を出しっぱなしにしない」の 3 項目は、200 人以上の児童が選んだ。



### (2) プログラムの家庭での実践者について

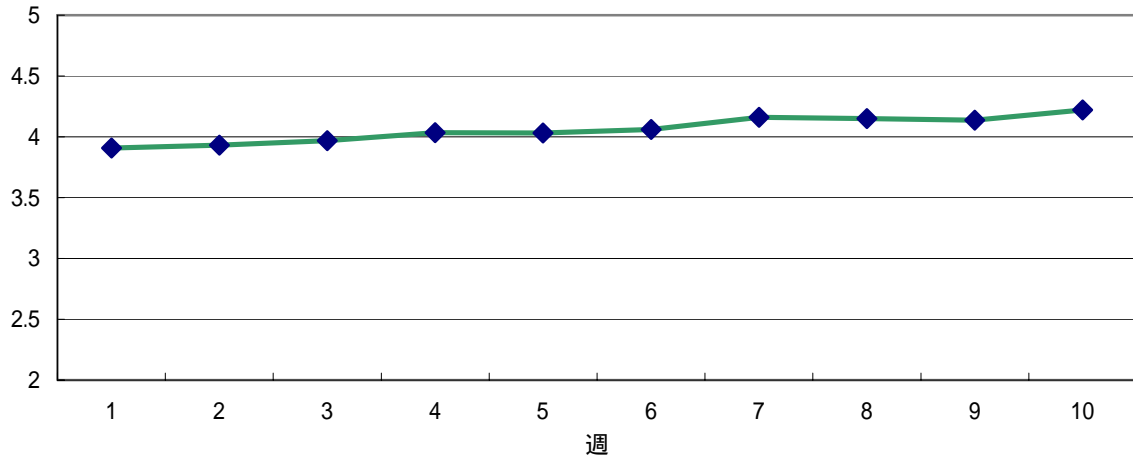
全員で取り組んだ項目が 4 割以上を占めており、家族が協力して取り組んだものと考えられる。



(3) 自己評価について

10 週間の取組みに対する自己評価の推移は以下のグラフのとおりであり、全体的に週を追うごとに取組み状況が良くなった。

(5 : たいへんよくできた 4 : よくできた 3 : まあまあできた 2 : あまりできなかった 1 : まったくできなかった)



(4) 取組みの効果について

設定したプログラムの上位 10 項目を 10 週間、着実に実践したとすると、CO<sub>2</sub>の排出量が約 12t-CO<sub>2</sub> 削減されるとともに、一世帯当たり 2,250 円<sup>2</sup>の家計が節約されると推計される。

$$2... 580,890 \text{ 円} \div 258 \text{ 人 (世帯)} = 2,250 \text{ 円}$$

プログラム上位項目	取組件数 (A)	削減効果の推計値		(参考) 削減効果(B)	
		10 週間		10 週間 / 件	
		kg-CO <sub>2</sub>	円	kg-CO <sub>2</sub>	円
1 使わない部屋の電気を消す	247	1,976.0	108,680	8.0	440
2 テレビやゲームの時間を減らす	217	716.1	39,060	3.3	180
3 水を出しっぱなしにしない	215	236.5	70,950	1.1	330
4 冷ぞうこをあけている時間を短くする	155	217.0	12,400	1.4	80
5 ごみの量を減らす・ごみは分別して出す	145	4,277.5	-	29.5	-
6 家電は主電源から切る	115	1,920.5	132,250	16.7	1,150
7 シャワーの時間を短くする	104	436.8	41,600	4.2	400
8 洗たくはまとめてする	98	225.4	60,760	2.3	620
9 車のアイドリングを止める	90	648.0	29,700	7.2	330
10 お風呂は家族が続けてはいる	83	1,278.2	85,490	15.4	1,030
合計		11,932.0	580,890	89.1	4,560
		(参考) 年間換算		463.3	23,712

計算方法... 削減効果の推計値 = 取組件数 (A) × 削減効果 (B)

なお、これらのプログラムを県内全世帯 (平成 17 年 1 月現在 373,868 世帯) が着実に実施したと仮定すると、10 週間の削減効果は約 3 万 3 千 t-CO<sub>2</sub><sup>3</sup> であり、年間では、約 17 万 3 千 t-CO<sub>2</sub><sup>4</sup> と推計される。これらは富山県内における家庭からの CO<sub>2</sub> 排出量 214 万 1 千 t-CO<sub>2</sub> (平成 12 年度) のそれぞれ 1.5%、8.1% に相当する。

$$3... 89.1 \text{ kg (10 項目 10 週間削減効果)} \times 373,868 \text{ (世帯)} = 33,312 \text{ t-CO}_2$$

$$4... 463.3 \text{ kg (10 項目年間削減効果)} \times 373,868 \text{ (世帯)} = 173,213 \text{ t-CO}_2$$

### 3 参加した児童等の感想

(ふるさと環境学習クラブ(こどもエコクラブ)平成16年度活動報告集から抜粋)

- ・ 環境チャレンジ10という取り組みをしなかったら、私たちは地球温暖化のことは知らなくて、きっと水や紙を無駄遣いして、自分たちも温暖化を進めていたと思う。だから、この取り組みをして、地球を守ることができてよかった。
- ・ 家の人と一緒にやってくれたので、うれしかった。家族も友達もみんながんばっているから、「自分もがんばらなくちゃ」という気持ちになれた。
- ・ 環境を守る活動は自分たちだけではできないから、たくさんの人と協力してがんばっていきたい。
- ・ 水と電気の節約をしました。けっこう電気がついていることが多かったので驚きました。
- ・ 最初は、活動できたけれど、だんだんめんどくさくなってしまいました。
- ・ スイッチを切ったりするのが、くせになってきました。
- ・ なかなか生活が変わらない。ついつい水の無駄遣いをしてしまう。
- ・ 今までほとんどやっていなかったけど、やってみたらちょっと簡単でした。これからも続けるようにしたいです。
- ・ 地球温暖化を少しでも防げたと思うのでやってよかったです。
- ・ このような簡単なことでいいなら、これからもやりたいなと思いました。

### 4 今後の予定

平成17年度もとやま環境チャレンジ10事業を県内20~30校で実施する予定である。

【問合せ先：地球環境係 浦田、武末(ダイヤル 444 - 8727 内線2676)】